

学習心理学研究

[研究] 第1・2学年 選択 2単位

《担当者名》担当教員未定

【概要】

多数の文献を吟味することにより、学習心理学における最新の知見、特に学習理論についての知見を、実際の行動的問題・臨床心理学的問題と関連付けて考察し、学習心理学と臨床心理学の関係について理解を深める。

【学修目標】

様々な行動問題・臨床心理学的問題を理解するための一つの観点として、学習心理学的視点を身に着け、活用することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	・受講者の研究背景についての発表 ・この授業について	担当教員未定
2~4	テーマの選択	・この授業で対象とする臨床心理学的問題の決定 ・最新の論文の選定	担当教員未定
5~15	ディスカッション	・論文の要約発表 ・論文内容についてのディスカッション ・関連する学習理論・学習心理学的知見の解説	担当教員未定

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

ディスカッションの内容、参加姿勢を基に総合的に評価する。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

授業内で適宜指示する。

【学修の準備】

各講義においてテーマとなる論文について精読し理解しておく。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、

DP2. 心理学領域において自立した研究者として必要な研究能力を有している。

DP3. 先端的な専門知識および技能を修得し、学術研究を開拓的に前進させる能力を有している。

という臨床心理学専攻博士後期課程のディプロマ・ポリシーに適合している。